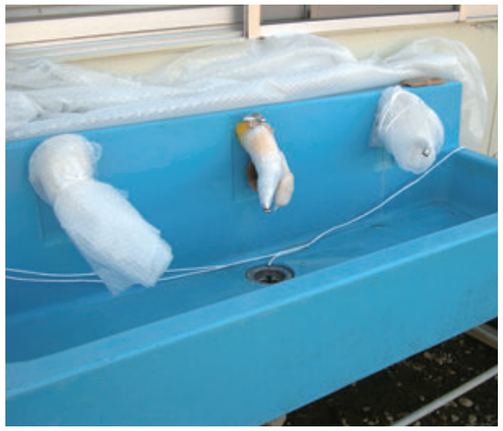
冬の寒さを乗りきれ！
～発掘調査現場の寒さ対策～

六反ヶ丸遺跡の上空を舞うツル

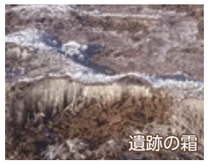
山ノ上Ｂ遺跡（鹿屋市）

小牧遺跡（鹿屋市）



発掘調査中は，寒さの厳しい日もあります。日陰となる場所は霜が溶けづらいので，農業用ネットを敷いて霜の予防をしたり，日なたから始めるなど一日の調査工程を工夫しています。また，霜や氷などで滑らず安全に通行できるように，調査区内の通路に麻のシートを敷くこともあります。

水道も，遺物梱包材を蛇口の覆いに転用して，凍らないように対策しています。


遺跡の霜

その他発掘体験・遺跡見学実施状況

遺跡名	月　日	来訪団体等	内　容	参加者数
安　良　遺　跡	９月　６日	蓬原小学校６年生	発 掘 体 験	10
	９月 21 日	安楽校区公民館	現地説明会	42
川 久 保 遺 跡	７月 25 日	鹿屋市文化財ウォッチング	発 掘 体 験	11
	８月　２日	おおさきっこ歴史探検隊	遺 跡 見 学	10
	11 月 19 日	一般	現地説明会	310
	１月 18 日	細山田小学校３・４年生	発 掘 体 験	66
小　牧　遺　跡	８月　３日	霧島市文化財少年団	発 掘 体 験	38
	８月 18 日	池之原小学校・柏原小学校５・６年生，東串良中学校１～３年生	発 掘 体 験	13
牧　山　遺　跡	10 月 17 日	鹿屋市転勤奥様講座	遺 跡 見 学	10
春 日 堀 遺 跡	11 月 16 日	志布志高等学校１年生	遺 跡 見 学	4
六反ヶ丸遺跡	１月 13 日	遺跡周辺自治会ほか	現地説明会	102

（公財）埋蔵文化調査センターのホームページは，上野原縄文の森（http://www.jomon-no-mori.jp）または，鹿児島県文化振興財団（http://www.houzanhall.com/zaidan/）「上野原縄文の森」からお入りください。

検索キーワード　上野原縄文の森　検　索　クリック

～かごしまの遺跡～ 第15号
発　行　日　平成30年2月2日
編集・発行　（公財）鹿児島県文化振興財団
埋蔵文化財調査センター
〒899-4318　鹿児島県霧島市
国分上野原縄文の森２番１号
TEL 0995-70-0574・FAX 0995-70-0575
URL：http：//www.jomon-no-mori.jp
E-mail：maibunchosa@tuc.bbiq.jp

公益財団法人 鹿児島県文化振興財団 埋蔵文化財調査センター

～かごしまの遺跡～

第15号　平成 30 年２月２日

特集：今年度発掘調査・整理作業状況の総括

川久保遺跡　（鹿屋市串良町）

平成 29 年 11 月 19 日（日），川久保遺跡の現地説明会を開催しました。会場に，「地層の観察」，「竪穴住居跡の見学」，「測量や図面に記録する作業の見学」，「出土遺物の展示やミニチュア縄文土器（厚紙製）の製作」などのコーナーを設け，発掘調査の雰囲気を少しでも間近に感じてもらうことを目指して行いました。

当日は天候にも恵まれ，午後だけの開催にもかかわらず，多くの方々（参加者 310 名）でにぎわいました。見学者からは，「直接説明を聞いて理解できた」「身近にある遺跡を見ることができて良かった」などの感想をいただきました。

発掘調査と整理作業

～埋もれた歴史に光を～

発掘調査

六反ヶ丸遺跡（出水市六月田町）

昨年9月から調査を始め，古墳時代の竪穴住居跡や土器，鉄製の鏃（やじり）等が見つかりました。

土器は，熊本県や福岡県でよく出土する丸底の甕がみられ，当時の交流の様子がうかがえます。

（支援業務委託：㈱九州文化財研究所）

山ノ上B遺跡（鹿屋市小野原町）

鹿屋市の西部，標高170～175mにあり，平成28年度から発掘調査を行っています。

昨年10月から調査を始め，1月現在，古墳時代の竪穴住居跡と縄文時代早期の集石遺構等が見つかっています。

山沿いに営まれた古墳時代集落が，どんな様子だったのか興味深いところです。

牧山遺跡（鹿屋市串良町）

写真は，連穴土坑という縄文時代早期の遺構です。左側で煙を起こし，右側の狭い場所で肉や魚をいぶして燻製を作ったと考えられています。

この他，縄文時代の後期や弥生時代の遺構・遺物が見つかっています。

（支援業務委託：㈱国際文化財）

川久保遺跡（鹿屋市串良町）

説明会の開催区域と別の地点から，弥生時代の終わり頃の壺が数個体出土しました。中には故意に穴を開けた壺（写真）もありました。こうした土器は墓などでよく見つかることから，この土地で，何か特別なことが行われたのかも知れません。（支援業務委託：㈱島田組）

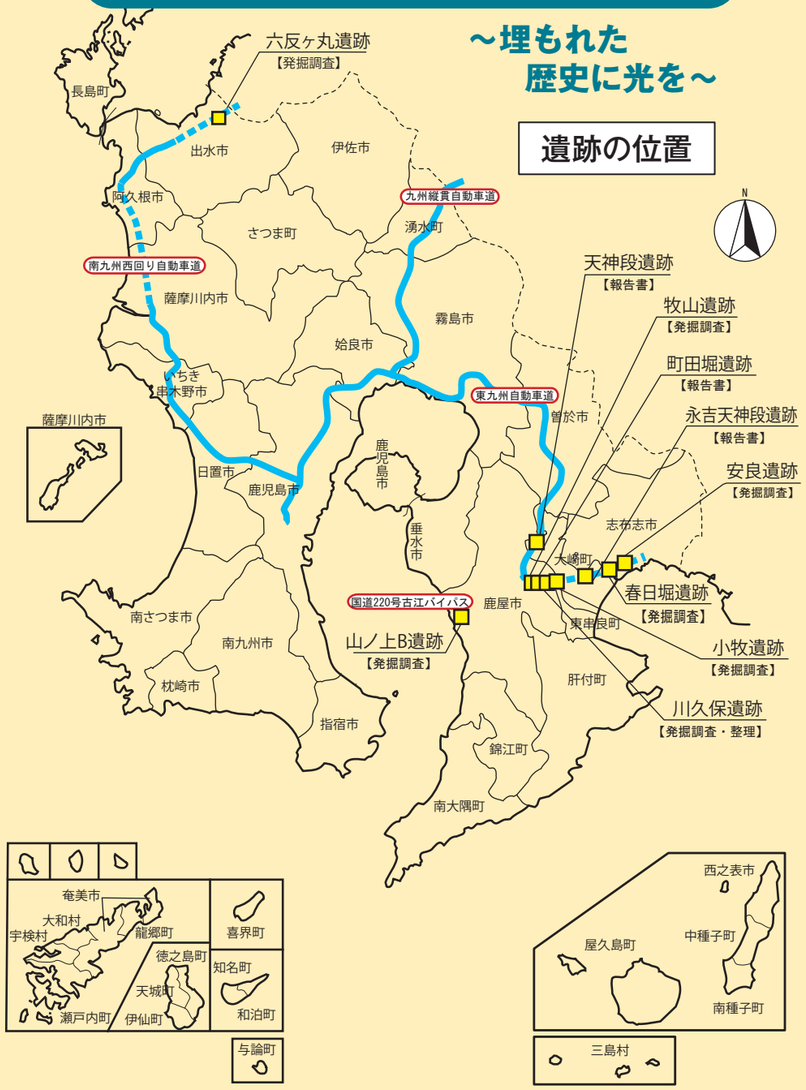
小牧遺跡（鹿屋市串良町）

縄文時代や室町時代の遺構の土から植物の種子等を発見する作業（ウォーターフローテーション）を行っています。

植物は，焼けて炭になると何千年も残ります。そこで，住居跡などを埋めていた土の中から残っている炭を取り出し，それらを顕微鏡で詳しく観察し植物の種類を調べることで，当時の食生活や住居の資材など様々なことがわかります。

この他，全国的にも珍しい，縄文時代早期の磨製石鏃が見つかりました。

（支援業務委託：㈱新和技術コンサルタント）



春日堀遺跡（志布志市有明町）

昨年11月から調査を始めました。標高約30m，菱田川右岸の河岸段丘上にあり，これまでに旧石器時代，縄文時代，古墳時代の遺構や遺物が見つかっています。

1月現在，縄文時代早期の集石遺構が多数見つかっており，調査を進めています。

（支援業務委託：㈱大福コンサルタント）

安良遺跡（志布志市志布志町）

昨年10月まで調査を行いました。

古墳時代の竪穴住居跡・溝状遺構・地下式横穴墓（写真）や，中世の掘立柱建物跡などが見つかりました。

（支援業務委託：㈱大福コンサルタント）

整理作業

この他，川久保遺跡については，報告書作成に向けた準備作業をしています。

天神段遺跡（曽於郡大崎町）

平成19～25年度までの発掘調査成果の一部，旧石器時代の礫群（調理施設）やナイフ形石器，細石刃（カミソリのような石器）などの石器，縄文時代早期の300基を超える集石遺構や竪穴住居状遺構などについて，3月の刊行に向けた作業を進めています。

今回ですべての調査成果を刊行することとなり，天神段の地における，長きにわたる人々の交流の様子が明らかになりました。

町田堀遺跡（鹿屋市串良町）

平成26，27年度に調査した縄文時代早期の集石遺構，縄文時代後期の竪穴住居跡，深鉢を意図的に埋めた施設，古墳時代の地下式横穴墓，倉庫とも考えられる掘立柱建物跡などの遺構や遺物について，3月の刊行に向けてまとめています。

永吉天神段遺跡（曽於郡大崎町）

平成27年度の調査成果の一部（中～近世の「地下式坑」という施設等）のまとめと，25，26年度の成果の一部（弥生時代中期の集落等）についてまとめる準備をしています。

さらに，専門業者の協力を得て，土器に練り込まれた当時の昆虫や植物の種子等の痕跡を見つける作業を行いました。解明が難しい，当時の生活環境などの復元につながる作業です。

（撮影協力：㈱パリノ・サーヴェイ）